



～絆を結び 愛が溢れる南砺へ～

南砺市商工会青年部

設立10周年記念誌



商工会青年部の歌 ～明日をつくる友だち～

作詞：加藤 日出男 作曲：米山 正夫

何か 何か	それでも それでも	幾度も 幾度も
つよく 求められている	君は なぜかあきらめず	夢をくたく べがある
その何かに 夢をかけて	この時代の 波に向かう	だが終わりは いつも来ない
永遠(とわ)に 歩きつづける(くり返し)	そして君と ほほえむ(くり返し)	明日をつくる 友だち(くり返し)
われら 商工会青年部	われら 商工会青年部	われら 商工会青年部

商工会青年部宣言

かけがえのない人たちと、かけがえのない地域のために

われわれは、自己の利益追求のみならず、国家を基盤とした社会の恒久的な平和と繁栄を実現する。

若き事業家として、何人にも侵されない自立した経営を確立し、地域の商工業を躍動させ、地域の一員としてその責任を自覚すると共に先人の教えに学びつつ、未来に向けた活力ある社会を創出する。

この美しい国、日本に生きる者として、地球の環境問題を捉え、われわれだけでなく、次世代の人々の為にも、継続的な運動を推し進める。

そして全ての国家、民族との交流を積極的に図り永続的共生を同じ時代を担う者としてここに誓う。

誓いの言葉

- 1.われわれ商工会青年部は、創造力と行動力をいかし、地域振興発展の先駆者となる。
- 1.われわれ商工会青年部は、商工会の後継者であり、将来の中核として、組織活性化の推進力となる。
- 1.われわれ商工会青年部は、社会一般の福祉の増進に努め、新しいまちづくりの原動力となる。

ごあいさつ

南砺市商工会青年部 部長 中井 将司



南砺市商工会青年部設立10周年を迎え、「10周年記念誌」を発刊するにあたり一言ご挨拶申し上げます。この大きな節目の年を、南砺市商工会青年部の部長として迎えることができました光栄と責任を痛感している次第であります。

顧みますと、平成21年5月21日に「南砺市 心はひとつ」のスローガンのもと、7つの単会が合併して南砺市商工会青年部が誕生しました。当時、個性や特色が非常に強い7つの単会が合併し、県下最大の200名を超える部員の心をひとつにすることは大変な苦労があったと思います。そのような状況の中、初代本田部長の熱い想いのもと、南砺市商工会青年部はいのくち椿館にて行われた第1回通常総会からスタートしました。しかし、これまでの単会ごとの意識や活動が根強くあり、初年度は部員の心をひとつにするどころか、まずは役員を心をひとつにするところから始まったと聞いております。そんな南砺市商工会青年部も2年目、3年目と研修事業や委員会活動、各種イベントの企画・運営など、支部間の垣根を越えた活動を行い、絆を深めると共に経営者・後継者としての資質向上に取り組んできました。そして10周年を迎えた今日では、その活動は地域内外から高く評価され、地域の将来を支えるリーダーとしての期待が高まっております。

「青年部らしさ」とは何か。それは、様々な事業や活動を実行できる行動力であり、地域の課題や要望に対して柔軟に対応できるフットワークの軽さです。青年部活動の中で「楽しさ」を見つけ出し、愛する仲間との絆、愛する仕事への還元、愛する地域への貢献、それらを通じて地域振興発展の先駆者となることで、地域を盛り上げていくことが大切だと考えます。

現在、南砺市商工会青年部は6つの支部で構成され、全体として活動を行う上でも各支部のイベントや事業を大切に、バランスを考え活動しております。しかしながら、各支部の部員数や活動には差があります。これから先、各支部での活動は部員の減少等により維持すること自体が難しくなっていくのかもしれませんが、だからこそ、各地域で必要とされる青年部としての誇りを胸に、南砺市商工会青年部として各支部活動への協力が必要になると思います。そして、各々の資質を高め、各支部を盛り上げ、南砺市がひとつになれば、日本一の商工会青年部になれると思います。そのためにも、全部員がこれからの10年後、20年後の姿を想像し、個性や特色を活かす活動を続けていくことが大切だと考えております。

設立10周年の記念スローガン「絆を結び 愛が溢れる南砺へ」を掲げ、愛する家族、愛する仕事、愛する地域のため、南砺市商工会青年部は希望溢れる未来に向けて、これからも「氣愛」を入れて活動していきます。

結びに、この記念誌の発刊にあたり、祝意をお寄せいただいた関係各位に心より感謝申し上げます。

青年部設立10周年を祝して

南砺市長 田中 幹夫



このたび、南砺市商工会青年部が設立10周年を迎えられましたこと、心からお喜びを申し上げます。

平成21年4月に7つの商工会が合併して南砺市商工会が発足し、同年5月、「南砺市心はひとつ」の基本指針の下、青年部が設立されました。以来、日本最大規模の部員数を誇る団体として、支部・部員それぞれの個性を磨きつつ、地域を想う熱い絆で結ばれ、一体となって活動に取り組まれていることに、心から敬意を表します。

特に、南砺市誕生10周年を記念して開催した「なんと!トレジャーハンター2014」では、民間ノウハウと若さ溢れる行動力で運営の中核を担われ、市民を巻き込んだ大イベントとして成功を納められました。その後も、支部活動を起点として、「なんとで遊ぼう!～SYOKUの祭典～」や「ファミリーフェスタ～キャンプで絆を深めよう!!～」、職業体験事業「チャレンジマイスター」など、多彩なイベントに部員一丸となって取り組み、市民に笑顔と活気を与え続けてくださっていることに、あらためて感謝を申し上げる次第です。

新しい令和の時代を迎え、いよいよ私たちは、これまでの概念にとらわれることなく、物事の本質を見究め、差異を認め合いながら、ともに手を携えて持続可能で幸福感に満ちた社会を創っていくことが求められています。

今後とも南砺市商工会青年部が、地域経済の活性化はもとより、市民から愛され、変革をもたらし続ける団体として、ますます発展されますことをご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

南砺市商工会青年部設立10周年に寄せて

南砺市議会 議長 向川 静孝



南砺市商工会青年部設立10周年、誠におめでとうございます。市議会を代表し心からお祝い申し上げます。

南砺市商工会青年部におかれましては、平成21年5月に福光、福野、井波、城端、五箇山、利賀、井口の7つの商工会青年部が合併して設立され、設立から3年間は、「南砺市心はひとつ」という指針に基づき活動されました。

平成25年に開催された第15回商工会青年部全国大会埼玉大会において、日頃の活動や「なんと!B級グルメ選手権」が認められ、まちづくり部門で大会顕彰の受賞や、部員増強部門「新規加入実績」全国1位、「部員増加数」全国2位の表彰も受けられました。各支部においても地域に密着した活動が認められ多くの賞を受賞されていると伺っております。さらに、若手後継者としての資質の向上、商工振興及び地域振興の発展にご尽力いただき、深く敬意を表するものであります。

南砺市商工会青年部の皆様方には、さまざまなイベントや活動をとおして魅力のあるまちづくりに努めていただき、大変心強く感じています。市議会といたしましては、このような活動は地方創生の推進にとっては大変重要なことであり、また、市民と行政が一体となってまちづくりに取り組んでいくことが南砺市の発展につながっていくものと考えております。

結びに、南砺市商工会青年部が大きく飛翔されますことを心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

発刊を祝して

南砺市商工会 会長 川合 声一



今般、南砺市商工会青年部設立10周年を祝し、その足跡を辿る記念誌が発刊されますことに対し心からお祝いとお喜びを申し上げます。

当商工会は、全国各地の商工会の合併協議が進む中において、7つの商工会が合併し、平成21年4月に県下最大規模の商工会として誕生いたしました。その中で、貴青年部は地域振興の担い手となり、その最前線で活躍の場を広げていただいております。皆さんの大きな牽引力は地域に元気をもたらし、地域の絆を一層深めていただいておりますことに、あらためて感謝を申し上げる次第であります。

他方、元気な商工会地域づくり支援事業やチャレンジマイスター事業にも積極的に取り組み、南砺の次世代を担う子供達に、ものづくりや職業体験から得る尊厳意識啓発活動は、多くの皆さんから評価、支持されているところです。

また、各種の資質向上にも取り組み、自らの人間開発を図ることは青年経営者にとっても貴重な財産となっていると思っております。

今、日本を取り巻く環境は、高齢化の進展、人口減少を迎え、地域基盤の再構築が叫ばれております。当商工会も廃業による会員数の減少、事業承継や生産性の向上、働き方改革への対応等、益々その相談内容は多様化・複雑化しており、中小・小規模事業者の心に寄り添った伴走型支援が求められています。地域経済の持続的発展の為に青年部の絶大な力が必要です。この10周年を契機とし、さらなる地元愛を深化し氣愛、氣概を持ってこの南砺の限りのない発展にご尽力賜りますよう、衷心よりお願いを申し上げますと共に中井部長をはじめ部員の皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

設立10周年に寄せて

富山県商工会青年部連合会 会長 石本 慎太郎



このたび、南砺市商工会青年部が設立10周年を迎えるにあたり、富山県商工会青年部連合会を代表して心からお祝い申し上げます。また、日頃より富山県青連事業に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

南砺市商工会青年部におかれましては、平成21年に設立されて以来、地域の伝統を継承し、様々な地域に密着した活発な組織活動を展開され、地域商工業の振興に多大なご尽力をいただいております。また、県下最大の部員数を誇り、その団結力や行動力は結成当時より県内各単会の模範、目標とするところであり先輩諸兄の皆様、現役部員各位の弛まぬご尽力に対しまして心より敬意を表させていただきます。

富山県青連では今年度、研修・広報の二つの委員会を設けました。これにより、有益な情報を提供するための研修事業の充実や、部員間ネットワークを活発にしていこうといった、経営につなげていくための活動を展開しております。今後とも県青連活動に対してもご尽力を賜りますよう、この機会をお借りしてお願い申し上げます。

結びに、我々青年部は、一人ひとりを見れば、まだまだ完成された大人とは言えないのかもしれませんが。しかし団結することにより、その足りない部分を補い合い、助け合うことで想像を超える力を発揮できるものです。持ち前の若さと行動力、そして結束力の強さを活かし、今後とも地域商工業の発展のため、青年部活動が実施されることをご期待申し上げますとともに、皆様方の今後益々のご健勝を心から祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



平成21年度～22年度

南砺市商工会青年部

南砺をつなぐ虹

南砺市商工会青年部 初代部長 **本田 敏**



南砺市商工会青年部設立10周年、誠におめでとうございます。今後とも時代に負けない活躍を期待し、あわせて皆様のご健勝を心よりお祈りいたします。

時折、皆様のご活躍を目にすることがあります。ほとんどが新しい顔ぶれで、みなぎる元気を感じます。話を聞けば、今では各7地域の仲間が入り混じり、当たり前のように仲良く活動されているということで本当に心強く感じます。今思えば、南砺市商工会青年部の設立は市町村合併の流れから決まったことで、まったく喜ばれる設立ではありませんでした。思いがけず選ばれた部長として、良き方向に向かいたい気持ちとは裏腹に迷子になっていたようにも思います。信じることは、輝く7地域の光がひとつの光となれば、全国のどこにも負けない青年部になれるということ、7つのそれぞれ異なる光を濁さずまとまれば、虹のようにになれるということです。

指針「南砺市 心はひとつ」

各支部の良さを分かり合えるようになることから始めた活動でしたが、個性の強い7つの光はとても素晴らしく、まとめるのがもったいないと感じてしまったほどです。10年が経ち、南砺市商工会青年部は虹のようになってきているようです。私が何をしたわけではありませんが、みなさんが仲良く力を合わせてひとつになってくれていることをとても嬉しく思います。

商工会、そして商工会青年部は、商売人にとっても地域にとってもなくてはならない組織です。これから100年先へと続く元気な街づくり、人づくりに貢献できる組織として邁進していかれますよう祈念いたします。



役員

部長 本田 敏
副部長 清都英雄 柴田昌尚
理事 牧 慶輔 斉藤義成
 松井良充 宮本宏志
 崎田栄輔 石村厚志
 池田庄治 城岸 栄

監事 斉藤武幸
相談役 林 紀孝

委員会/委員長

研修委員会 牧 慶輔
 心はひとつ委員会 斉藤義成
 総務広報委員会 各支部長

支部/支部長

福光支部 松井良充
 福野支部 宮本宏志
 井波支部 崎田栄輔
 城端支部 石村厚志
 五箇山支部 池田庄治
 利賀村支部 城岸 栄

部員数(賛助部員含む) 約210名

平成21年度

- 5/19 第1回通常総会(いのくち椿館)
指針:南砺市 心はひとつ
- 6/11 南砺市商工会青年部主張発表大会
- 6/24 商工会青年部呉西ブロック主張発表大会
南砺市代表:梅木隆太 横川信之
- 8/26 商工会青年部主張発表県大会
呉西ブロック代表:梅木隆太
- 9/6 商工会青年部対抗ソフトボール大会 優勝
- 9/29 商工会青年部対抗ゴルフ大会 団体優勝
(高岡カントリークラブ)
- 10/25 チャレンジマイスター事業(井波木彫りの里)
井波木彫刻体験/装飾技能体験/木工作業体験
- 11/11~12 第12回商工会青年部全国大会 富山大会
(オーバード・ホール)
- 12/8 商工会青年部全国大会慰労会(とやま自遊館)
- 3/17 元気な商工会地域づくり支援事業発表会
(富山県中小企業研修センター)
「南砺市福野地域伝統文化継承事業」
福野支部:柴田昌尚
「中京圏からの誘客プロジェクト~利賀を味わう」
利賀村支部:須河永喜
- 3/19~20 県外視察研修(大阪方面)
通年 資質向上研修会 全6回開催

平成22年度

- 5/14 第2回通常総会(いのくち椿館)
指針:南砺市 心はひとつ
- 6/11 南砺市商工会青年部主張発表大会
- 6/19 商工会青年部対抗ゴルフ大会
(立山カントリークラブ)
- 6/29 商工会青年部呉西ブロック主張発表大会
南砺市代表:高田哲親 長谷川浩史
- 8/23 商工会青年部主張発表県大会
- 9/5 商工会青年部対抗ソフトボール大会
Cチーム優勝
- 11/25 平成22年度 商工会青年部主張発表全国大会
(渋谷C.C.Lemonホール)
- 3/17 元気な商工会地域づくり支援事業発表会
(富山県中小企業研修センター)
「ナント、ガッツリマルカジリ作成について」
本田 敏 柴田昌尚
- 通年 資質向上研修会 全6回開催





平成23年度～24年度

～魅力ある青年部に向かって～

地域の見本となれ!

南砺市商工会青年部 第二代部長 柴田 昌尚



南砺市商工会青年部設立10周年おめでとうございます。

先代の本田部長から部長という大役を受け継ぎ、部員たちの心をひとつにするためには何をすればよいか常に悩んでいました。各支部としての意見や方針をその場で判断しなければいけない場面もあり、当時の支部長はとても大変だったと思います。心をひとつにするために南砺市一丸となったイベントを行わなければ、部員同士の顔も見えないまま衰退していく一方だと感じました。初年度に「なんと! B級グルメ選手権」を開催した結果、少しずつではありますが、部員間に交流が生まれていったと思います。次年度では、やはり商売をよくしないといけないと考え「なんと! 青年部大学校」を開催させていただきました。どちらも成功裏に終わることができ、感謝の言葉しかありません。

青年部の皆様には、自らの商売が発展するからこそ地域貢献もできるということを忘れないで欲しい。商売あつての青年部であり、どの団体からも認められる青年部となるよう、地域振興発展の先駆者を目指してがんばってください。

結びに、今日という日をより大切に、後悔のない日々を精一杯活動していただけるようお願い申し上げます。本当にありがとうございました。



南砺市商工会青年部

役員

部長	柴田昌尚	
副部長	石村厚志	浅田直彦
理事	細川雅弘	坂本正樹
	南部 輝	沖田 仁
	中村義之	城岸 栄
	高田賢吾	牧晋一郎
	武田勇人	北川智之
監事	松井良充	宮本宏志
相談役	本田 敏	清都英雄
	林 紀孝	

委員会/委員長

イベント委員会	高田賢吾
広報委員会	牧晋一郎
研修交流委員会	武田勇人
総務渉外委員会	北川智之

支部/支部長

福光支部	細川雅弘
福野支部	坂本正樹
井波支部	南部 輝
城端支部	沖田 仁
五箇山支部	中村義之
利賀村支部	城岸 栄

部員数(賛助部員含む)

約200名



平成23年度

- 5/11 第3回通常総会(福光中央会館)
指針: 南砺市 心はひとつ
- 6/21 商工会青年部対抗ゴルフ大会
(トナミロイヤルゴルフ倶楽部)
- 6/24 南砺市商工会青年部主張発表大会
- 6/28 商工会青年部呉西ブロック主張発表大会
南砺市代表: 斉藤義成 松原正和
- 8/26 商工会青年部主張発表大会県大会
呉西ブロック代表: 斉藤義成 最優秀賞
- 9/25~26 県外視察研修(愛知県豊川市ほか)
- 10/18~19 中部ブロック商工会青年部連合会交流研修会(津市)
主張発表大会 富山県代表: 斉藤義成 優秀賞
- 11/5~6 なんと! B級グルメ選手権(IOX-AROSA)
応募点数101点 優勝: なんなんまぶまぶ
- 11/6 チャレンジマイスター事業(IOX-AROSA)
そば打ち/豆腐作り/せんべい手焼き体験
- 2/7~8 商工会青年部全国組織化45周年
第13回 商工会青年部全国大会 和歌山大会
(和歌山ビックホール)
- 3/18 砺波ブロック青年部交流会「ドッジビー大会」
(津沢小学校)
- 通年 資質向上研修会 全6回開催

平成24年度

- 5/14 第4回通常総会(福光中央会館)
指針: 共存共栄 ~魅力ある青年部に向かって~
- 6/13 南砺市商工会青年部主張発表大会
- 6/29 商工会青年部呉西ブロック主張発表大会
南砺市代表: 安地英介 花島健介
- 7/12 商工会青年部対抗ゴルフ大会 団体優勝
(八尾カントリークラブ)
- 8/28 商工会青年部主張発表大会
呉西ブロック代表: 花島健介
- 9/30 商工会青年部対抗ソフトボール大会 3位
- 11/5 富山県商工会青年部連合会結成50周年記念式典
功労者表彰受賞: 柴田昌尚
- 12/8 元気な商工会地域づくり支援事業
なんと! 青年部大学校(福光福祉会館)
年末の大掃除大学校/男の肴大学校/利き酒大学校/
X'masケーキ大学校
- 12/8 チャレンジマイスター事業(福光福祉会館)
そば打ち/X'masケーキデコレーション/X'masリース作り
- 12/8 南砺市商工会青年部交流会(福光公民館)
- 2/6~7 第14回 商工会青年部全国大会 徳島大会
(アスティとくしま)
- 通年 資質向上研修会 全4回開催



平成25年度～26年度

地域の未来は我々の覚悟にかかっている

南砺市商工会青年部 第三代部長 浅田 直彦



このたび、南砺市商工会青年部設立10周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

今後とも若い力が自分たちの地域は自分たちで創るのだという意気込みを忘れないで活動していただくことを期待しております。

「覚悟」というテーマを掲げて2年間活動してまいりました。当時も部員の皆さんには挨拶等で説明したことはありますが、青年部活動を一生懸命しようとすれば時間も費用も掛かります。その中では、社業や家族との時間までも取られていくかもしれません。しかしながら、何のために青年部活動をするのかという目的の部分自分なりに理解することで、きっと意味のあるものになる事でしょう。そのような意味で「覚悟」を持って活動していこうということでした。また、逆の意味においても「覚悟」を持って欲しいとも伝えました。地域のことを他人任せにし、自分では何もしないというのであれば、将来どんな状況になっても受け入れる「覚悟」を持って欲しいということでした。どちらかを選ぶとすれば、言うまでもないことです。

南砺市商工会青年部には同じ世代を生きる心強い仲間が沢山います。共に汗をかき、知恵を出し合っただけから明るい豊かな南砺市を創っていってくれることを心からお願いしまして、挨拶に代えさせていただきます。



南砺市商工会青年部

平成25年度

- 5/8 第5回通常総会(福光中央会館) 指針:「覚悟」～一人ひとりが現実を見つめ地域を創っていこう～
- 6/4 商工会青年部対抗ゴルフ大会(太閤山カントリークラブ) ホールインワン: 浅田直彦
- 6/6 となみ野青年4団体合同事業/合同講演会(オクス砺波平安閣)
- 6/20 商工会青年部呉西ブロック主張発表大会 南砺市代表: 大岡辰昇 松田洋一
- 8/28 商工会青年部主張発表県大会
- 9/29 商工会青年部対抗ソフトボール大会 3位
- 10/14 南砺市商工会青年部交流事業「交流BBQ」(桜ヶ池公園 自遊の森)
- 11/10 元気な商工会地域づくり事業 なんと!トレジャーハンター(南砺市内)
- 11/10 チャレンジマイスター事業(南砺市内) 絹織手織/木彫刻/しろえびせんべい手焼き/グリーンフラワーアレンジメント/和紙すき/そば打ち
- 11/30 南砺市商工会青年部交流事業「大交流会」(花ござん)
- 2/4 第15回商工会青年部全国大会 埼玉大会(埼玉スーパーアリーナ) 全国大会顕彰「まち(地域)づくり部門」 受賞: 南砺市商工会青年部 部員増強運動「新規加入実績」全国1位 部員増強運動「部員増加数」全国2位
- 3/8 南砺市商工会青年部交流事業「ビーチボール大会」(南砺市アクティブ東石黒)
- 通年 資質向上研修会 全6回開催

平成26年度

- 5/9 第6回通常総会(福光中央会館) 指針:「覚悟」～私たちの地域は私たちが創る～
- 6/19 商工会青年部対抗ゴルフ大会(立山カントリークラブ)
- 6/21 となみ野青年4団体合同事業「ビーチボール大会」(井波社会体育館)
- 7/1 商工会青年部呉西ブロック主張発表大会 南砺市代表: 石黒公一
- 8/20 商工会青年部主張発表県大会 呉西ブロック代表: 石黒公一 優秀賞
- 9/28 商工会青年部対抗ソフトボール大会 優勝
- 10/11 チャレンジマイスター事業(桜ヶ池周辺) そば打ち/豆腐づくり/銅板でアートな壁掛け作り/木材でマガジンラック作成/ささら作り
- 10/12 南砺市合併10周年記念事業 なんと!トレジャーハンター2014(南砺市内) 申込組数: 480組/1423名 なんと!マルシェ 出店数: 31事業所 なんと!スイーツの祭典 出店数: 8事業所等 なんと!発表会 出演数: 20団体
- 11/12～13 第16回商工会青年部全国大会 新潟大会(朱鷺メッセ) 全国大会顕彰「ネットワークづくり部門」 受賞: 北村隆洋
- 2/1～2 県外視察研修(京都・大阪方面)
- 3/20 南砺市商工会青年部交流事業「大交流会」(志ようす)
- 通年 資質向上研修会 全6回開催

役員

部長	浅田直彦	
副部長	西村信太郎	大西大紀
	北村隆洋	井波隆司
	武田勇人	
理事	南部剛志	安居範光
	渡辺史男	石黒公一
	辻村直純	
監事	城岸 栄	高田哲親
相談役	柴田昌尚	松井良充
	宮本宏志	

委員会/委員長

イベント委員会	南部剛志
広報委員会	安居範光
研修委員会	渡辺史男
交流委員会	石黒公一
総務委員会	辻村直純

支部/支部長

福光支部	西村信太郎
福野支部	大西大紀
井波支部	北村隆洋
城端支部	井波隆司
五箇山支部	高田哲親
利賀村支部	城岸 栄

部員数(賛助部員含む) 約180名



平成27年度～28年度

南砺市商工会青年部

彩響(最強)青年部と私…

南砺市商工会青年部 第四代部長 石黒 公一



僕にとって南砺市商工会青年部はかけがえのないもので、心から誇りに思います。部長時代、「彩響 ～個性を磨き 奏で 響かせよう～」の指針を掲げ、2年に渡り濃密な活動をさせていただきましたが、他にも僕の心の中に3つの「こ」という言葉を持っていました。

「個性」、「交流」、「公一(自尊心)」

組織のトップに立ち、真剣に向き合うという最強の経験をさせていただいたことで、自分が掲げた言葉(想い)が心に刻み込まれました。中でも、「公一」の確立には感謝しかありません。自身の成長や、人や地域とのつながり等々、身をもって感じた南砺市商工会青年部の偉大さ。責任を果たすために精一杯やり抜くと、ちゃんと自分に返ってくるのです。先輩方など、やってきた人を見ればわかりますよね。持ち合わせた個性を磨くに相応しいこの場所で、更に自身を眩いほどに輝かせましょう。そして、様々な交流を通して個が仲間となり、奏でる青年部活動をやり抜くことが、今後の人生の幸せを左右する、45歳までの何事にも変えられない最高の経験となるのです。また、「南砺市 心はひとつ」は至高のフレーズですが、私たちが真っ先に南砺市の中でもその域に辿り着いていると感じます。この青年部デカラにより、南砺市の人や地域までも巻き込み、心ひとつにできる。そして更に元気を作り出していく。南砺市商工会青年部はなくてはならない組織なのです!

まだまだやってこまいけー! 我々の夢や希望に向かって、付随する全てに最強青年部デカラを注力し、愛する南砺を彩り響かせていきましょう!!



役員

部長	石黒公一	
副部長	北川智之 嶋潤之介	安居範光 南部剛志
理事	武田勇人 野村真一郎 大西大紀	山田祐介 南 拓志 松本一総
監事	城岸 栄	沼前 正
相談役	柴田昌尚 浅田直彦	林 紀孝

委員会/委員長

イベント交流委員会	山田祐介
総務広報委員会	南 拓志
研修委員会	野村真一郎
組織強化委員会	武田勇人

支部/支部長

福光支部	嶋潤之介
福野支部	北川智之
井波支部	南部剛志
城端支部	安居範光
五箇山支部	沼前 正
利賀村支部	城岸 栄

部員数(賛助部員含む) 約180名



平成27年度

- 5/1 第7回通常総会(ア・ミューホール)
指針:彩響 ～個性を磨き 奏で 響かせよう～
- 6/23 商工会青年部呉西ブロック主張発表大会
南砺市代表:桜井直樹
- 7/16 商工会青年部対抗ゴルフ大会
(ゴルフ倶楽部ゴールドウィン)
- 7/29 商工会青年部主張発表県大会
呉西ブロック代表:桜井直樹 優秀賞
- 9/4 第1回市長との懇談会(南砺市商工会館)
- 10/10 商工会青年部対抗ソフトボール大会 優勝
- 10/24 ふくみつまちなか文化祭 棟方志功関係イベント
石碑巡りクイズラリー/棟方志功になろう
- 10/24 チャレンジマイスター事業
イス作り/木製スプーン作り/銅版アート壁掛け作り
- 11/10～11 第17回 商工会青年部全国大会 兵庫大会
(神戸国際展示場)
- 1/31 青年部交流事業(マンボウ、花ござん)
- 2/21～22 県外視察研修(群馬県・長野県)
- 通年 資質向上研修会 全6回開催

平成28年度

- 5/9 第8回通常総会(ア・ミューホール)
指針:彩響 ～個性を磨き 奏で 響かせよう～
- 6/4 青年部交流事業(南砺農業会館)
- 6/19 商工会青年部対抗ソフトボール大会 優勝
- 6/23 商工会青年部呉西ブロック主張発表大会
南砺市代表:藤井昭平
- 7/19 商工会青年部主張発表県大会
呉西ブロック代表:藤井昭平 優秀賞
- 9/4 元気な商工会地域づくり支援事業
なんとで遊ぼう! ～SYOKUの祭典～
(福野体育館)
- 9/4 チャレンジマイスター事業(福野体育館)
本棚/こぎりこ節のささら/銅版アート壁掛け/
福野田楽行燈/フラワーアレンジメント
- 9/26 商工会青年部対抗ゴルフ大会
(富山カントリークラブ)
- 11/7 県外視察研修(福島県)
- 11/8～9 商工会青年部全国組織化50周年
第18回商工会青年部全国大会 福島大会
(ビッグパレットふくしま)
商工会青年部全国大会顕彰
「ネットワークづくり部門」 受賞:柴田昌尚
- 2/6 第2回市長との懇談会(城端商工会館)
- 3/10 青年部交流事業(白馬車)
- 通年 資質向上研修会 全6回開催



平成29年度～30年度

南砺市商工会青年部

実行することから始めよう

南砺市商工会青年部 第五代部長 **北川 智之**



南砺市商工会青年部は設立以来、合併前から行ってきた各支部の活動だけでなく、南砺全体としての活動を進めるべく、委員会組織の立ち上げや、交流会の開催など、先輩諸兄が様々な活動を行ってこられました。私が部長を務めさせていただいた、9年目、10年目はちょうどこれまでの活動が実を結び、支部の枠を超えた活動が自然と行われるようになったと思います。また、一方では南砺だけではなく、より地域に根差した活動として支部活動の重要性も訴えてきました。今思うとちょっと欲張りだったかもしれませんね。

活動として、特に重要な点として掲げたのが、部員の資質向上、ネットワークづくり、新しいまちづくりの3つ。そして、とにかくいいと思ったら行動するということ。

2年間は大変なこともありましたが、一緒に頑張る仲間がいるからこそできることがあったと思いますし、青年部活動というのは、家族のためであったり、仲間のためであったり、従業員のためだったり、未来の誰かのためだったり、自分以外の誰かのためじゃないとダメだなと思いました。もちろん自分の成長も大事ですが、成長した自分のその先の活かし方、そこまでを考えると、青年部活動のモチベーションになるのではないかと思います。

これから10年先、20年先も沢山の地域の方から必要とされる青年部であってほしいと思います。頑張りましょう！



役員

部長	北川智之	
副部長	中谷昌裕	水内康晴
	辻村直純	中井将司
理事	高田裕之	野原芳宏
	杉木裕矢	野村幸弘
	久恵健治	野村雄亮
	中西一夫	岸 寛嗣
監事	南部剛志	安居範光
相談役	浅田直彦	石黒公一

委員会/委員長

まちづくり委員会	久恵健治
ビジネス委員会	杉木裕矢
組織活性委員会	野村雄亮
総務広報委員会	野村幸弘

支部/支部長

福光支部	水内康晴
福野支部	中谷昌裕
井波支部	辻村直純
城端支部	中井将司
五箇山支部	高田裕之
利賀村支部	野原芳宏

部員数(賛助部員含む) 約200名



平成29年度

- 5/10 第9回通常総会(サンキュー ア・ミューホール) 指針: 起動～実行することから始めよう～
- 6/25 商工会青年部対抗ソフトボール大会 (雨天中止のためじゃんけん大会)
- 6/28 商工会青年部呉西ブロック主張発表大会 南砺市代表: 南部剛志
- 7/19 商工会青年部主張発表県大会 呉西ブロック代表: 南部剛志
- 9/9 チャレンジマイスター事業(閑乗寺公園) 五箇山こきりこ節のささら作り/福野夜高祭の田楽行燈作り/木工製作/貸し衣装・プランナー/アロマスプレー作成/小型モーターを使った車作り/フラワーアレンジメント体験/ドラム缶風呂製作
- 9/9～10 元気な商工会地域づくり支援事業 ファミリーフェスタ ～キャンパで絆を深めよう!!～ (閑乗寺公園)
- 9/22 商工会青年部対抗ゴルフ大会(小杉カントリークラブ)
- 11/9 異業種交流会 行政若手職員(南砺市商工会館)
- 11/19～20 県外視察研修(沖縄県)
- 11/21～22 第19回商工会青年部全国大会 沖縄大会 (沖縄県立武道館) 商工会青年部全国大会顕彰「まちづくり部門」受賞: 福野支部「ユカタ・デ・ダンス」事業
- 12/2 婚活事業～恋するクリスマスSweetsパーティー～ (IOX-A ROSA)
- 2/20 第3回市長との懇談会(井波社会福祉センター) 通年 資質向上研修会 全6回開催

平成30年度

- 5/9 第10回通常総会(サンキュー ア・ミューホール) 指針: 起動～実行することから始めよう～
- 6/13 商工会青年部対抗ゴルフ大会(立山カントリークラブ)
- 6/18 南砺市施策勉強会(南砺市商工会館)
- 6/27 商工会青年部呉西ブロック主張発表大会 南砺市代表: 川合洋平
- 7/18 商工会青年部主張発表県大会 呉西ブロック代表: 川合洋平
- 9/1～2 ファミリーフェスタ'18 ～家族の絆をギュー(牛)と深めよう～ (荒天により中止)
- 9/5 となみ野青年4団体合同事業 (サンキュー ア・ミューホール)
- 9/17 商工会青年部対抗ソフトボール大会 優勝
- 10/13 婚活事業～恋するBBQパーティー～(桜ヶ池公園)
- 10/21～22 県外視察研修(岩手県 オガール紫波)
- 11/21～22 第20回商工会青年部全国大会 広島大会 (広島グリーンアリーナ)
- 12/7 異業種交流会 行政若手職員(福野体育館)
- 2/3 チャレンジマイスター事業(南砺市商工会館) 福野夜高祭の田楽行燈作り/木工製作/ハーバリウム製作/井波木彫刻/ハンカチ染め体験
- 2/27 第4回市長との懇談会(井波社会福祉センター)
- 3/9 大交流会(マンボウ、花こげん)
- 通年 資質向上研修会 全7回開催

歴代座談会



石黒公一 南砺市商工会青年部 第四代部長
林紀孝 富山県商工会 青年部連合会 第十九代会長
本田敏 南砺市商工会青年部 初代部長
中井将司 南砺市商工会青年部 第六代部長
柴田昌尚 南砺市商工会青年部 第一代部長
浅田直彦 南砺市商工会青年部 第二代部長
北川智之 南砺市商工会青年部 第五代部長

【部長挨拶】

中井：今日は歴代座談会ということで、南砺市商工会青年部をご牽引してこられた歴代の皆様にお集まりいただき誠にありがとうございます。

皆様のご尽力により、南砺市商工会青年部は設立10周年を迎えることができました。各支部が協力し合いながら活動してきた10年間で、部長、会長という立場をご経験された皆様は様々な課題に立ち向かい、そして青年部員一丸となって乗り越えてこられたことだと思います。

今日は、この10年間の歩みを振り返り、そして、これからの未来に向けて南砺市商工会青年部がどう在るべきか、皆様のご意見を頂戴しながら考えていきたいと思います。この座談会が南砺市商工会青年部の益々の発展につながる貴重な機会となることをご祈念申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。限られた時間ではございますが、どうぞよろしくお願いたします。



「当時を振り返り」

本田：南砺市商工会青年部の初代部長を務めさせていただくことになり、まずは各支部の素晴らしい個性や、熱い思いを持つ部員たちをどの様にまとめていけばよいかということを考えました。合併以前は東砺波郡・西砺波郡に分かれており、住む場所さえ違っていましたので、正直まとめ上げるのは無理ではないかとも思っていました。そん

な中、せめて心だけでもひとつにしたいという思いから「南砺市 心はひとつ」という指針を決めました。そして、総会は南砺市の中心地で開催したいと考え、井口の「いのくち椿館」で行いました。各支部への気遣いを大切にしながら、何とかしてひとつになれるよう考えながらやっていました。

そんな時期に、商工会青年部全国大会が富山県で開催されました。南砺市商工会青年部として参加・協力を行いました。南砺市商工会青年部として参加・協力をしましたが、まだ組織としてまとまっていない状況もあり、わけが分からないくらい大変でした。とにかく各支部からの主張が強く、意見がぶつからないよう配慮も必要で、組織としてまとめることにとても苦労しました。

柴田：私も最初のスローガンは「南砺市 心はひとつ」にしました。副部長として本田部長の背中を見ていたので、ひとつになる難しさを感じていたので、最初は役員会を開いても、参加する役員は半分くらいでした。少ない時では4人で行ったこともあります。会話をすることも難しい状況があり、まだ南砺市商工会青年部としての意識の低さがありました。結局、最後まで全員参加での役員会は一度もなかったと思います。組織図についても、各支部からの意見や要望があり、当初検討していたものから変更しました。

行った事業では「なんと! B級グルメ選手権」が強く印象に残っています。開催までの準備期間がとても短く、皆で協力しなければ決して実現できない状況でした。各支部からの協力を取り付けるために色々工夫をし、何とか支部長の皆さんに承諾してもらいました。その後は、承諾していただいたからには必ず協力してくださいといっ

た感じで、そこから各支部の参加意識が変わりました。
林：富山県商工会青年部連合会に会長として出向させていただきました。当時はまだ南砺市商工会青年部も組織として成熟していませんでした。心はひとつと本気で考えているのも一部の部員だけだったと思います。しかし、そんな雰囲気の中でも本田さんは信念を曲げずに貫いて、それを柴田さんが引き継がれました。当時、「ユカタ・デ・ダンス」の開催日に近所の納涼祭へ柴田さんとピラを配りに行ったことがあります。部長自らがそうやって見えないところでも足を運んでいました。その姿勢が部員たちにも伝わっていったのではないかと思います。



富山県全体として変わった大きなきっかけとして、全国大会がありました。半ば強制的に参加しなければいけないということもありましたが、砺波ブロックからも行燈を出展しました。当日は大変な雨風となりましたが、悪天候の中、皆で一生懸命がんばっておられました。その様に、各ブロックから何か一つを協力していただき、それを青年部連合会がまとめ上げ、全国大会を終えました。富山県全体がぐっとひとつにまとまった感覚がありました。合併を行ったのは南砺市だけではなく、各地で合併が行われていましたし、そのタイミングで全国大会が開催されたことが大きかったと思います。南砺市でも「なんと! B級グルメ選手権」がありましたし、そのような事業を通じて、次の代へつながっていったのではないかと思います。

浅田：柴田さんの代までは組織作りが大きな課題であったと思います。柴田部長のもと、石村厚志さんと私が副部長となり、それぞれ担当委員会を持たせていただきました。副部長が委員会をしっかりと担当していただくことで、石村さんも私もそこを意識しながらやらせていただきました。それまでは支部長よりも委員長に強い思いがある雰囲気がありました。担当副部長としてしっかりと委員会にも参加し、活動内容を理解した上で部長に伝える。その様な組織が少しずつできあがっていったと思います。

「なんと! B級グルメ選手権」の際には、各支部の協力体制にまだ温度差があり、意見が衝突することもありました。参加人数の偏りなどについて議論もありましたが、各支部がプライドを持って取り組んでいこうということで進んでいきました。また、活動資金についても各支部への助成金の割り振りをどの様に決定するのかが課題でした。部員数に応じて割り振れば、部員が少ない支部は活動ができなくなってしまいます。参加率等にも考慮が必要でしたし、公平な分配方法を模索しながら1年間話し合いを続けました。

本田：当時の南砺市商工会青年部には事業を行えるだけの十分な予算がなく、各支部への予算を削りながら事業を行っているような感じで、とてもやり辛かったです。

柴田：設立当初は本当に予算がありませんでした。

本田：そんな予算のない状況で、何とか補助金を活用しながら開催できたのが「ナント、ガッツリマルカジリ」でした。

浅田：また、私の代から支部のエゴを取り除きたいとい

う想いで、各支部長には南砺市の副部長を兼務していただくことにしました。副部長を兼任していただいた方にはとても大変な思いをさせていただきました。しかし、その体制とすることで支部の活動はもちろん、南砺市の活動にも注力できるようになったと思っています。当時の支部長の皆さんには本当に感謝しています。

もう一点、「なんと!トレジャーハンター」について話させてください。任期の1年目には元気な商工会地域づくり事業として、2年目には南砺市合併10周年記念事業として開催させていただきました。南砺市の記念事業については応募の中から市民投票にて決定するというので、部員一丸となって呼びかけ等を行いました。その結果、大変多くの支持を集めて当選することができ、500万円という予算を使用して盛大に開催することができました。この事業では南砺市のいい所をトレジャーハントしようということで、南砺市各地をクイズ形式で回っていただきました。また、「なんと!マルシェ」では南砺の隠れた名産を食べることができ、ステージイベントでは南砺市を見たことのない芸能を楽しんでいただきました。南砺市の様々な魅力の一つにする事業として、行政の方々とも協力し合いながら、部員も支部の垣根を越えて取り組み、皆の力で実現することができた素晴らしい事業でした。



石黒：浅田さんの代で考えられた組織図は素晴らしかったと思います。その頃から、支部の垣根を越えて皆で活動できるようになったのだと思います。当時、私は交流委員会の委員長をさせていただきましたが、その委員長としての経験が、私を商工会活動に目覚めさせるきっかけとなりました。後に、私が部長をさせていただく際のスローガンにも交流の意味を持たせましたが、地域に関係なく、全ての部員が交流できる環境が徐々にできていたと感じます。現在は支部の垣根など全く感じません。

私の代でも組織図はそのまま引き継がせていただきましたが、卒業の年齢が引き上げられたこともあり、40歳以上の経験豊富な部員で構成する委員会を設けました。一度は卒業された方にもお願いさせていただいたので、皆さん思うところはあったかもしれませんが、当時の集合写真などを見ると、楽しんで活動されていたのかと思います。

また、市長との懇談会を始めさせていただいたのもこの頃です。市長とお話してから実現した企画ですが、私の後も継続していただき、来年には5回目が開催される予定とのことです。先輩方が様々な事業を通じて南砺市との信頼関係を築いてこられた礎があるからこそ、継続できているのだと思います。

そして、注力した事業に「なんとで遊ぼう! ~SYOKUの祭典~」がありました。任期1年目は「福光まちなか文化祭」と合同でチャレンジマイスター等を開催させていただき、2年目には行政や他団体とも協力しながら盛大に開催させていただきました。私には交流を大切にしたいという思いがあったので、事業を通じて多くの方々と関わり合えたことは本当に良かったと思っています。また、部員の皆さんがとてもがんばってください、限られた予算ではありましたが、あれだけの大きな事業として開催できた

ことがとても嬉しかったです。

北川：私が行った取り組みとして、まずは組織について話します。石黒さんの代で私は支部長をしていました。



その時に感じたことは、支部長の負担が非常に大きいということです。南砺市商工会青年部の事業も大切ですし、もちろん参加していただきたいのですが、やはり支部の活動があってこそだと思います。各支部の皆さんが南砺市に協力していただけるので非常に助かっていたのですが、その反面、支部での活動が少し疎かになっている部分もあると感じていました。その点を改善するために、組織として支部長の負担を減らすようフォローし、支部での活動にも注力してもらえよう呼びかけながら活動していきました。また、垣根を越えてという部分で、南砺市として各支部にどの様な協力ができるかということも模索しました。

また、運営面では事業計画や予算についての改善に取り組まれました。それまでの予算には曖昧な部分が多く見られ、このままではいけないと強く感じたからです。事業計画についても、会議に多くの資料は必要ありません。誰が見ても分かるように簡潔にまとめたもので提出していただくようお願いしました。不慣れなパソコン作業に苦労された方もおられたかもしれませんが、資料作成について部員の学びにもつながったのではないのでしょうか。

そして、スケジュールの管理・共有を行うために、現在も使用しているGoogleカレンダーを導入しました。南砺市と各支部、両方の活動予定を確認・共有しながらスケジュール調整ができるようになり、参加率の向上にも効果があったと思います。

石黒：現在はSNSや役立つアプリ等が多くあります。それらを活用・導入することで、とても活動しやすくなりました。素晴らしい取り組みだと思います。

「想いをつなぐ」

中井：私が商工会青年部に入部してから15年が経ちます。南砺市として合併する以前より在籍はしていましたが、設立された当時は役職や役割等は何もなく、総会くらいしか南砺市の活動には参加していない部員でした。その為、今ほどのお話にあった「南砺市 心はひとつ」という先輩方の想いを理解できてはいませんでした。本田さんから柴田さんへ同じ想いのもとスローガンが引き継がれたということ、役員会に参加する方が少なかったことなど、初めて知ったことばかりです。本日、設立当初からのお話を直接伺うことができ、当時の状況や各支部との調整など、ひとつになることの難しさがとても伝わりました。

柴田：当時「南砺市 心はななつ」でしたね(笑)。

本田：部員の数だけ心があったと思います。200くらいかな(笑)。

柴田：現在のようにSNSがなかった時代なので、南砺市の情報がまったく伝わりませんでした。情報を共有する為にも、各支部には必ず定例会を行ってもらおうようお願いしていました。

中井：正直、その当時は南砺市の事業に参加できていませんでしたが、どれだけ想いのある事業なのか、人員はどれだけ必要なのか、そのような情報が伝わっていれば予定を調整して参加できていたかもしれません。

中井：平成25年度には、「なんと!トレジャーハンター」に携わらせていただきました。南砺市の各地で企画が進められ、事業規模の大きさや、携わる方々の多さに驚きました。南砺市商工会青年部にはすごくパワーがあって、様々なことに挑戦できる団体なのだと感じました。「なんとで遊ぼう!〜SYOKUの祭典〜」もとても印象的な事業でした。担当委員会として、子供たちに描いてもらった絵を貼るラッピングバスや、体育館での様々な体験アトラクション等の企画に取り組みました。その時に、私たち青年部員が力を合わせればとても大きな力となり、地域に活力を生み出すことができるということを体感しました。そんな経験の中で、地域のために商工会活動がんばっていききたい、活動を楽しみたいという気持ちが生れました。

平成29年度より、支部長を務めさせていただきました。私がまず支部の皆さんに伝えたかったことは、自分たちが楽しむこと。自分たちが楽しんで活動すれば、必ず地域の人たちにもそれが伝わると思ったからです。そんな中、支部の委員会から南砺市各地のイベントでたこ焼きを販売し、地域を盛り上げたいという意見が出てきました。委員会の希望を叶えれば、支部の部員たちに大きな負担を掛けてしまうかもしれない。支部長として難しい判断ではありましたが、挑戦すると決めました。そして、各支部の支部長、部員の皆さんのご理解とご協力を得て、各地のイベントに参加させていただきました。その結果、部員間には支部の垣根を越えた交流と絆が生まれ、楽しんで活動することができました。南砺市での活動で勉強させていただいた事業の進め方や、スケジュールの管理方法もすごく助けになりました。

南砺市の心がひとつになってきた実感がありますし、各地域の個性や想いは失われていない。この良さを将来へつなげていかなければいけないと思っています。しかしながら、これから先の時代では、人口減少に伴い部員数も減っていくことが予想されます。部員増強も今まで以上に注力していかなければいけません。また、部員数が少なくなることで各支部での活動が難しい状況となれば、南砺市商工会青年部として各支部の活動を支援していく形を検討していく必要があると感じています。

柴田：「青年部宣言」や「誓いの言葉」にもあるように、私たちは地域振興発展の先駆者とならなければいけません。先駆者となる上でまず重要なことは、自らの商売です。地域を盛り上げ、楽しんで活動するためにも、まずは経営者としての人づくりをすることが一番重要ではないでしょうか。何の為にこの会に入っているのか。楽しいからだけではなく、自らの商売、そして社員の幸せを大切にしていかなければいけません。地域を盛り上げることで認められる部分もあれば、社業が繁栄することで認められる部分もある。これから変化していく時代の中で、それら



の共存共栄を考えていってもらいたいと願います。

浅田：南砺市ではこれから先、公共施設を半分に減らしていくという計画があります。そこで重要なのは、必要なものと不必要なものを見抜く力です。また、そのことに対して一肌脱げるか脱げないかということ。青年部の皆さんには、取り組む必要があることを見抜く力と、実行する勇気を持った人材、商売人になって欲しいと思っています。

本田：もちろん商売のことを考えないような活動はいけません、やはりどこかで相手の為に尽くすこと、人を思いやる心が心と心をつなぐ一番の方法だと私は思います。ちょっと無理をしなければいけない場面や、若い時にしかできないこともあるのではないのでしょうか。中井部長のお話しにもありましたが、委員会からこうやりたいという意見が出る。とても素晴らしいことだと思いますし、その様な活動ができることを羨ましく感じました。



林：今のお話しを会社に置き換えれば、社員からやってみようという意見が出て、会社としてそれに取り組んでいく。まさに理想的なチームだと思います。皆さんが重ねてこられた苦労が、成果として現れようとしている。やはり、これだけの組織になる為には10年掛かるのだと感じました。地域振興発展の先駆者となるためには、多少無理をして前に立つことも必要なことだと思います。しかし、その一方では社業でもしっかりと結果を出さなければいけません。結局はそのバランスが大切なのかなと思います。地域人として、会社の経営者として、人として、様々なことを学べる場が商工会青年部なのだと思います。

「未来に向けて」

本田：商工会青年部はイベント屋ではありません。そこを勘違いしてはいけません。少し無理をして活動する中で様々なことを学び、それを商売に活かすことをしっかりと考える。そうすればこの会をもっと伸びていくと思います。一言でいえば、面白くなってください!

浅田：設立から10年が経ちました。隔たりが無くなってからが本当のスタートです。商工会青年部に入部するということは、南砺市商工会青年部員になるということ。全ての部員が当たり前のようにこの意識を持っている。そんな未来でこそ「南砺市 心はひとつ」が叶うのだと思います。そんな時代を期待しています。

北川：自分も商工会青年部に入部して10年以上が経ちました。時代も青年部もずいぶん変わったと感じます。これから先の10年を考えれば、どんな未来が訪れるのか予測が難しい時代となってきました。組織も、私たちの考え方も、変わっていかなければいけません。時代の先をいく団体であって欲しいと願います。

また、「楽しさ」と一言でいえば簡単ですが、様々な「楽しさ」があると思っています。過去を振り返れば大変だったことの方が心に残っています。しかし、その大変

だった経験こそ、充実した日々であり、楽しかったことだと思います。これから大変なこともあるかもしれませんが、10年経って笑えれば「楽しさ」になる。がんばってください。

林：私が県青連の会長をさせていただいた時のスローガンは「IMPULSE Pride」でした。誇りを持つ、そんな組織を作りたいと考えていました。現在、私は自社の質を高め、子供たちからこんな会社に入りたいと思ってもらえるような会社に成長させたいと考えています。青年部に例えるなら、このチームであれば何にでも挑戦できると思える最高のチーム。青年部には超プラス思考のチームであって欲しい。部員の皆が青年部活動がんばる、仕事をがんばる、全てを前向きにがんばる。これから未来、ずっとそんなチームであって欲しいですね。

石黒：物事を深く考えずに、とにかく商工会活動に参加するだけでも多くを学ぶことができる。まずは参加することから全てが始まっていくと思います。そして、ただ参加するだけではなく、少しでもいいので責任を持つ立場となることが重要です。その責任や経験を積み重ね、人とのつながりを得て、大きく成長することができると思います。とにかくまずは参加して欲しい。これから先、部員数は少なくなるかもしれませんが、共に活動し、互いに良い影響を与え合えるようなチーム、仲間でありたいです。

私が青年部活動を続ける中で、柴田さんから頂いた言葉があります。「この活動は40歳までの青春だ」この言葉が一番心に響きました。今でこそ45歳までになりましたが(笑)。青年部活動は限られた時間の中でできない貴重な経験なのです。



柴田：私は「40歳までの青春、40歳からの挑戦」と考えていました。40歳までは青春を謳歌する。それはやりたいことも我慢しながら精一杯活動すること。そして、40歳からは我慢してきたことに挑戦したいと思っていました。

青年部のこの先10年のビジョンということで、私からのわがままを言います。「南砺市 心はひとつ」これは南砺市商工会青年部をひとつにという言葉ですが、本当の意味でのひとつになるとは、南砺市民全員がひとつとなり、一丸となること。それくらい大きなビジョン、目標を持って活動して欲しい。設立から10年が経ち、南砺市商工会青年部はひとつになった。これからはそのスケールメリットを活かすことを考える。遠い未来、部員が200名から100名になろうとも、団体として出来ることを考え、目標を持って活動してください。

以上

日付：令和元年9月30日
場所：南砺市商工会館 3階 会議室
編集：10周年記念事業実行委員会
記念誌部会

福光支部

私たちが暮らす福光地域では、春には小矢部川沿いに咲き誇る桜がライトアップされ、夏には福光ねつおくり七夕まつりにて豊作を願いながら熱をおくと共に、壮大な七夕飾りを楽しんでいただけます。また、秋には稲穂が揺れる田園風景、紅葉した医王山など美しい風景が広がり、冬にはイオックス・アローザスキー場にてウィンタースポーツを楽しめます。まさに四季を感じられる地域です。



この素晴らしい地域で、私たち福光支部は長く続けられている祭りやイベントを大切に守りながら活動しています。福光ねつおくり七夕まつりでは、「B級グルメ食堂」と題して先輩方が開発され名物となったイカ焼きをはじめ、時代の変化に合わせた様々な「食」を提供しています。また、メイン事業である「親子ふれあいフェス」はLOVE福光で開催されていた頃から数えると30年以上も続く事業です。現在では南砺ロータリークラブさんと力を合わせ、鮎のつかみ取り・塩焼き振る舞いなど、水・魚・食・親子交流といった日常では経験できないような「ふれあい」をテーマとした事業を開催しています。また森本商工会青年部（石川県）と23年間継続している事業など、様々な交流を通して築いた「絆」を大切にしながら、次代の商工会を担う青年として、地域発展のため邁進してまいります。

福野支部

福野支部では、毎年「ユカタ・デ・ダンス」を開催し、屋台や縁日、様々なステージイベント、花火の打ち上げを行っています。また、小学校へ出張授業や子供たちに輪踊りの振り付けを教えるなど、地域に密着し、子供たちからご年配の方まで皆さんに楽しんでいただけるようなイベントを行っています。



福野地域には伝統ある福野夜高祭や歳の大市、地元特産品を使ったごっつお里いもまつり、ふれあい夕市、スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドなど、魅力的なお祭りやイベントがあり、支部としても積極的に参加協力を行っています。時代は急速に変わっています。次代を担う若い世代として、これまで以上に地域に何が必要なのか、何が求められているのかをしっかりと考え、福野地域の発展のみならず、南砺市の発展に向け邁進していきます。今後とも支部の活動にご支援・ご協力をお願いいたします。

井波支部

井波支部では支部総会をはじめ、新年会・忘年会や県外研修など、部員との交流を深めながら、特別養護老人ホーム「いなみ」夕涼み会の協力、利賀そば祭りでの雪像づくりといった地域活動への協力を行っています。また、同友会ゴルフコンペや庄川町商工会青年部交流ゴルフコンペを行い、諸先輩方や他団体との交流があることも支部の魅力の一つです。



井波地域は2018年5月に「木彫刻のまち・井波」として日本遺産に認定され、構成文化財の一つとして「木遣り踊り」があります。いなみ太子伝観光祭では、前夜祭でのピアガーデンのほか、縁日や屋台を井波支部が主催しており、木遣りまち流しでは地方・踊り手として部員が参加することで、歴史や伝統を肌で感じながら活動を行っています。様々な事業を行う中で、共に活動する仲間との絆を深め、地域への貢献や活性化につなげていき、次世代を担う若きリーダーとしてこれからも邁進していきます。

城端支部

情緒あふれる街並みが今も残る越中の小京都「城端」。春にはユネスコ無形文化遺産に指定された城端曳山祭、秋には哀愁漂う城端むぎや祭、季節によって全く違った顔を見せてくれる2つの大祭があります。城端に住まう人々は幼少期からこの祭りに触れ、城端の伝統・文化を身近に感じてきました。



城端支部では祭りや各種イベントへの「兄貴のたこ焼」出店をはじめ、「介護老人保健施設 城端うらら納涼祭」への参加・協力、メイン事業である「ふるさと寺子屋」を中心に地域に根ざした活動を続けています。次代を担う若者として、部員各々の地域を想う気持ちは強く、城端から南砺市を盛り上げるため頑張っています。時代の変化に伴い、商工会青年部の活動も地域と共に変化していかなければいけません。部員同士の絆、地域とのつながりを大切に、これからも魅力ある城端地域、南砺市の発展に向けて邁進していきます。

五箇山支部

平、上平合わせての五箇山支部では、毎年春には地域美化の為、ゴミのポイ捨て禁止を訴える立て看板を設置しています。そして、秋には地元の祭りである「麦屋祭り」、「こきりこ祭り」に参加・協力を行い、麦屋祭りでは部員が地方や踊り子として出演しています。



現在は部員数も限られ、大きな事業や活動はできませんが、地域には五箇山民謡、世界遺産合掌造り集落など、世界に誇れる魅力が数多くあり、豊かな自然に囲まれた五箇山に受け継がれる文化や伝統は本当に素晴らしいものばかりです。今後も地域の魅力を最大限に活かし、広く伝えていけるよう積極的に活動を行っていきます。また、部員増強にも注力し、地域の課題と向き合い、解決していける人材を育成していきます。地域の未来のために自分たちに出来ることを模索しながら、五箇山から南砺市を盛り上げていけるよう精一杯活動していきます。

利賀村支部

南砺市商工会青年部利賀村支部は現在少数の部員数ではありますが、利賀地域ならではのイベントに積極的に参加し、先輩方から受け継がれた系譜を守りつつも若い世代のアイデアを取り入れて活動しています。



本年は、5月下旬の新緑祭りにてたこ焼きを販売し、8月から9月にかけて今年利賀地域で最大のイベント、ロシアとの共同開催の「第9回 シアター・オリンピック」にて5週間にわたり岩魚の塩焼きを販売しました。例年とは異なる演劇関係への出店となり、長期にわたる出店期間をやり遂げることができたのか心配しましたが、地元青年団の協力も得て、有意義な期間となりました。利賀地域の人口は少ないかもしれませんが、南砺市のみならず、日本、世界に誇れる催しがたくさんあります。利賀村支部ではこの催しの交流人口を活かして、利賀地域ここにありと言える活動を今後も継続していきたいと思っております。



南砺市商工会青年部

福光支部

湯浅 貴仁 中華料理「青龍」
 渡辺 史男 渡辺事務所
 岡田 雅弘 オカダ電装
 中川 敬介 アースコンサルタント(株)
 川合 大 川合設計事務所
 西村信太郎 (有)ニシムラ電化
 西東 正明 日本海園芸
 上坂 友人 忠伸板金(株)
 幅田 健司 グループホーム柿の華
 嶋 潤之介 嶋や酒店
 大岡 辰昇 (合)ITステーション
 片岸 次雄 かたぎし新聞店
 池田 寛之 イケダスポーツ
 杉本 薫 SAKURAnbo
 河村 和志 ふくみつ光房(株)
 水内 康晴 (有)トヤマ運動具製作所
 石田 義政 (株)石田組
 船藤 幸輔 (株)船藤鉄工所
 片山 哲也 片山工業(株)
 津田かおり 鮮魚亭 かににんや
 松本 兼信 (株)松本建材
 西村大仁郎 中越鉄工(株)
 池田 祐亮 池田建築
 山本 正宏 山本塗装
 上口 恭 上口電気
 武田 隆志 カーリアータケダ
 土居 俊輔 (株)土居建設
 倉谷 龍孝 Massive Act
 山田 圭祐 (有)川合田温泉山田屋
 川合 洋平 日の出屋製菓産業(株)
 武田 隆啓 (株)新陸運輸
 井澤 禎生 (有)いざわ保険
 野村 幸弘 (株)ガスコムノムラ
 水口 健一 富山県信用組合 福光支店
 吉田 僚 (株)第一ツアーズ
 大塚 敦士 (株)富山第一銀行 福光支店

福野支部

金谷 健盛 (有)とりひで
 河合 優子 口福食彩 花*華
 晩田 菊乃 (有)晩田モーターズ
 北村 明博 キタムラ住設
 吉田 健一 和伊之介
 梅木 隆太 (有)福野自工
 橋爪 央樹 橋爪園芸
 大橋 昇 旅川農産(有)
 能勢 正紀 宮本装業
 河合 実 (株)河合石油
 佐々木聖司 (有)オートメンテナンス佐々木

梧桐 秀貴 梧桐建設(株)
 石黒 公一 (有)石黒工業所
 長谷川浩史 福野フードセンター
 浦井 啓子 (株)人づくり・学び舎
 鷹野 史治 掃除屋 フラワーロード
 北川 智之 (株)北川電機商会
 細井 章成 (株)宮本工務店
 河合 沙織 Heart for nail
 中谷 昌裕 Masa Garage
 山田 正人 居酒屋すい正
 三村 雄洋 三村塗装(株)
 林 功司 BARBER38
 中西 一夫 (株)三喜有
 金谷 淳 ラーメンじゅんちゃん
 高田 直明 高田司法書士事務所
 塚本 和也 (有)塚本電機商会
 安田 真吾 (有)デリカやすだ
 河合 崇行 雅環境造形
 常本 幸平 (株)福光石工
 杉木 裕矢 杉木鉄工(株)
 神能 公典 (株)神能工務店
 嶋田 充宏 砺波住設(株)
 嶋田 良太 (有)嶋田鉄工
 蟹谷 磨史 (有)かにや(アンヘルハート)
 梅木 一平 ふくの接骨院
 種部 祥太 東田手袋商事
 沢田 尚也 沢田接骨院
 苗加 裕文 (有)苗加インテリア
 信高 浩章 信栄工業(株)
 川田 航平 砺波信用金庫
 下保真裕佳 (株)北陸銀行 福野支店

井波支部

北村 隆洋 北村石材
 浅田 直彦 (有)浅田燃料店
 武田 勇人 武田板金
 松川 修 TSUBAKI工業
 松田 洋一 (有)松田電機店
 丸山 祐市 日本ソフテック(株)
 岩倉 巧典 岩倉建築
 島田 優平 (株)島田木材
 辻村 直純 (株)MIXBOX
 瀧田 龍也 瀧田石材店
 野村功美子 スナック華祥
 藤井 祐作 (株)フジイ電装
 野村 昌浩 野村木材(株)
 南部 剛志 南部タイヤ商会
 山崎 晃 (有)プランニングオフィスグローブ
 越山 穂高 越山大工
 竹田 衛 山宗工業
 野原 英彦 野原工業(株)

野村真一郎 野村プロパン
 廣瀬 典子 特定非営利活動法人 アイウェーブ
 坂田 充寿 タカハタ工業(株)
 稲葉 勝宏 (有)松井自動車工業
 神下 大智 地元の台所 季味の庵
 牧野 裕敬 東山荘
 茂利 大輔 志ようず
 青山雄一郎 青山養蜂
 高桑 祐司 高桑工業
 塚田 浩平 (有)北陸カッティングサービス
 長谷 優 (株)ゆうゆうトラベル
 久恵 健治 (有)久恵建設
 高橋 雄大 (有)パブリックオート高橋
 長谷 力 (株)なぎさ交通
 藤井 公嗣 (株)藤井組
 江尻 大朗 (株)井波木彫りの里
 東 優希 (株)富山銀行 井波支店
 加藤 誠 富山県信用組合 井波支店
 藤崎 正嗣 (株)フジサキ
 長谷 学 (有)昭信機工
 田中 貴之 砺波信用金庫 井波支店
 長田 章孝 長田神具店
 北田 悠典 (株)キタダ

城端支部

保院 克臣 (有)保院製作所
 荒木 恵介 城西ニット(有)
 川平 浩史 (有)城端製材
 野松 利光 (有)ノマツ
 山下 貴光 山下塗装
 澤田 大輔 沢田造園
 井波 隆司 井波屋菓子舗
 藤井 紀人 日本オリゴ(株)
 松原 正和 (株)エムアンドティ
 岩滝 純一 桜ヶ池造園
 村田 憲信 むらた食品
 今井 宏 (株)今井機業場
 山下 博 中越興業(株)
 西田 伸弥 (株)西田中島総合保険
 中道 正晴 中道工務店(有)
 谷口 幸大 つくばね建設(株)
 安達 立展 安達建設(株)
 安居 範光 (有)安居商店
 桜井 直樹 桜井瓦販売店
 南 毅 南建築
 藤沢 佳史 藤沢建築
 山本 勝 (有)城端自動車板金工業
 松崎 貴之 (有)マツザキ事務機
 山田 祐介 (株)山田製作所
 米澤 純 米澤塗装
 田原 知大 居酒屋 蔵

大西 正起 (有)大西石油
 中井 将司 (株)中井工業
 川口 共水 川口工務店
 川田 将晴 川田ニット(株)
 和田 貴之 城北運送(有)
 岸 寛嗣 アイ保険エージェンシー(株)
 松田 直也 (有)松田鉄工
 南 孝 南建築
 野村 雄亮 野村鉄工所
 杉本 慎介 テクノライフKOKEN
 山根 正行 (有)山根モーターズ
 村上 将 (有)村上自動車整備工場
 林道美有紀 (有)林道エンジニアリング
 清利 未央 JEWEL Companion
 高澤恵里加 コンパニオン蘭々
 安地 真希 (有)徳工門
 溝口 佑斗 みくにや
 市川 大祐 (有)市川工務店
 佐藤 良介 さとう美装
 松井 渉 (株)松井機業場
 夏梅 紘行 ナント生コン(有)
 酒井 孝光 (株)堀川製作所
 片山奈都紀 スナック紅
 健名 祐輝 (株)健名組

五箇山支部

高田 哲親 お食事処坂出
 山崎 英博 三笑楽酒造(株)
 荒井 崇浩 荒井建設(資)
 川島 陽平 ドライブイン赤尾
 沼前 正 めままえ電器
 高田 裕之 (株)高清組
 藤井 昭平 ひょうたん
 笹部 洋平 うまいもん処 吟奴
 長田 政哉 (株)長田組
 宮本 幸則 (株)宮本

利賀村支部

野原 芳宏 関西電力(株)
 笠野 博徳 米沢工業(株)
 須河 永喜 米沢工業(株)
 米倉 健太 民宿いなくぼ
 カルパリオ・アル ツール・マルシウス 野原建設(株)
 須河 優 越飛建設(株)
 野原 裕人 南砺市役所
 芦村 浩 野原建設(株)
 蟹澤 悠也 野原建設(株)

計 188名 (令和元年11月27日 現在)

未来への決意

この10年で先輩方が築き上げてきた
「南砺市 心はひとつ」の精神のもと

若者ならではの想像力と行動力で
すべての部員が力を合わせ 未来に向けて挑戦していこう

地域から信頼され 期待に応えられる
皆に誇れる活動を続けていこう

一人ひとりが自分自身を成長させ
学びを仕事に活かしていこう

「絆を結び **愛**が溢れる南砺」を
共に創っていこう

編集後記

設立10周年記念式典の開催並びにこの記念誌の発刊にあたり、青年部役員を中心に実行委員会を起ち上げ準備を進めてきました。

これまでの歩みを振り返り、記念事業を進めていく中で、本誌の企画として歴代部長の方々からのお話を聞く機会を作ることもできました。南砺市としての活動があたりまえとなっている今日の青年部の姿が、地域や家族をはじめ多くの方々に支えられていること、そして何より諸先輩方の多大なるご尽力によって生まれた姿であることを改めて強く感じました。だからこそ、この事業が現役部員の団結力を高める目的だけでなく、これまでご尽力されてきた諸先輩方に感謝の気持ちを伝える機会にしたいという想いが強くありました。感謝の気持ちを忘れることなく、すべての部員で共有し、次の世代へつないでいくことが大切であり、未来へ向けた力に変えていくために「未来への決意」を作成しました。

これからも青年部活動は続いていきます。時代とともに変わる社会の中で、組織も変わり、様々な問題に直面し立ち向かっていかなければいけないこともあるでしょう。そんな時、この「未来への決意」が少しでも心の支えとなり、指針となることを願います。

令和元年11月27日

南砺市商工会青年部
10周年記念事業実行委員会

南砺市商工会青年部 10周年記念事業実行委員会

[委員長] 中井 将司 [相談役] 石黒 公一／北川 智之

[副委員長] 岸 寛嗣／河合 崇行／山本 正宏／久恵 健治／野村 雄亮

[式典部会長] 武田 隆啓 [祝賀会部会長] 長谷 力 [記念誌部会長] 山根 正行

[総務部会長] 嶋田 良太 [事務局] 畑中 健

南砺市商工会青年部 設立10周年記念誌

発行 令和元年11月

発行元 南砺市商工会青年部

〒939-1576 南砺市やかた324

TEL: 0763-22-2536 FAX: 0763-22-4317

印刷 (有)プランニングオフィス グローブ